

一人一人が大切にされる社会に向けて (令和3(2021)年度島根県人権問題県民意識調査から)

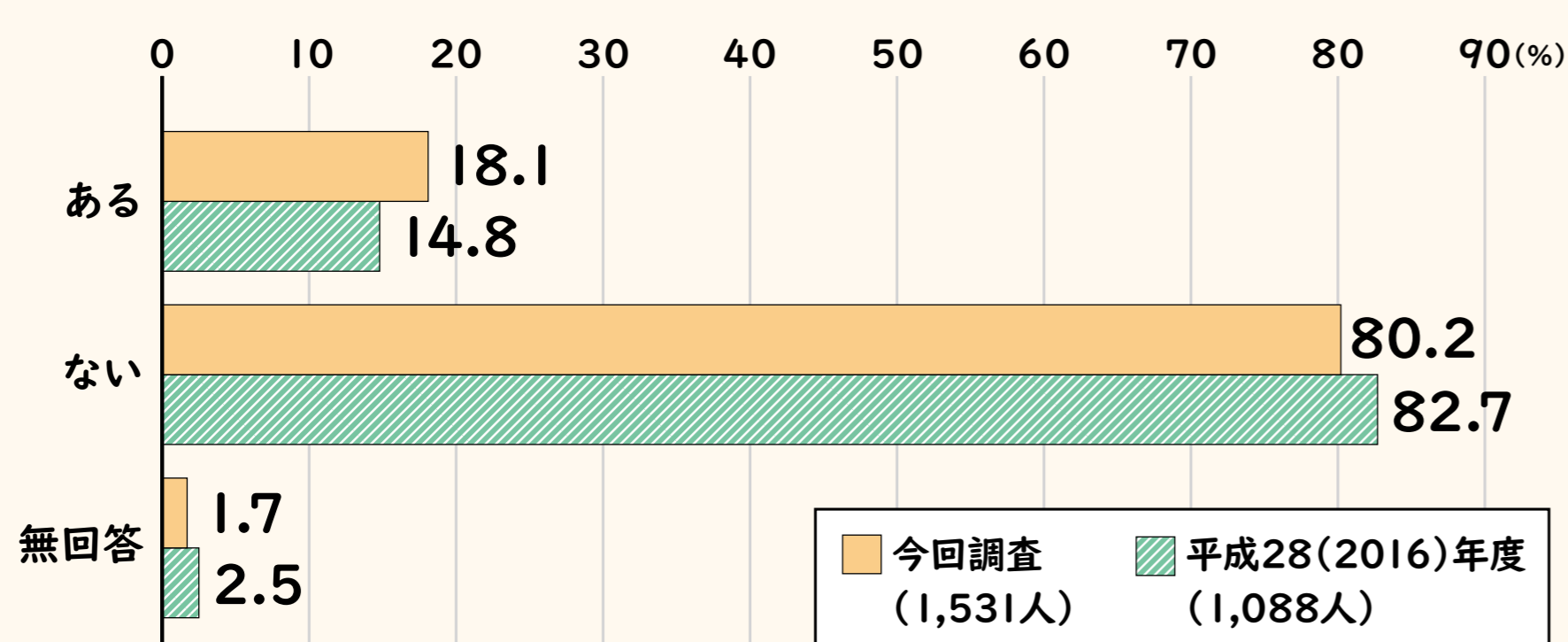
島根県が実施した県民意識調査から人権について考えてみましょう

過去5年間ぐらいで、「差別や人権侵害を受けた」と感じたことが「よくある」又は「時々ある」と回答した人が約18%

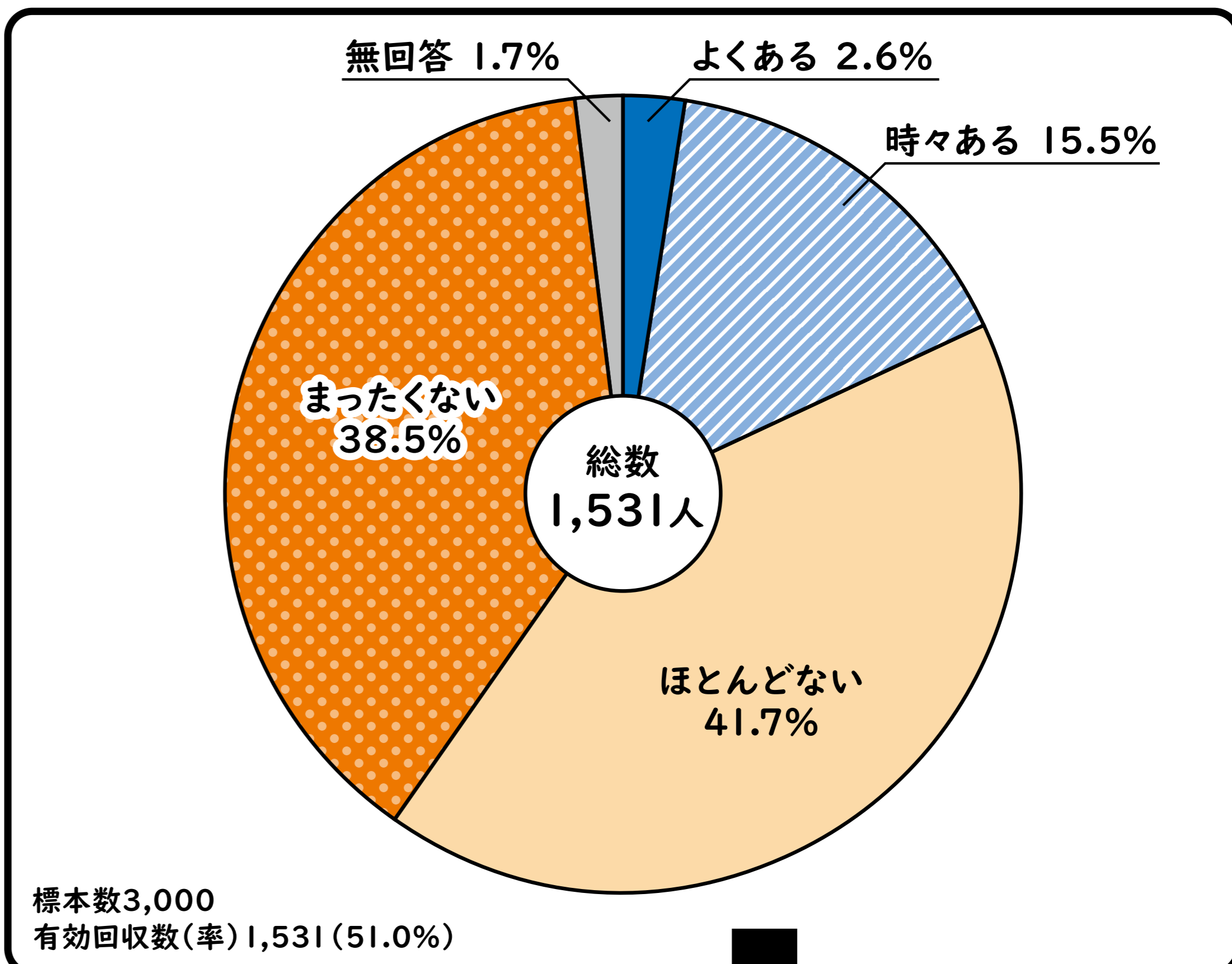
問1

過去5年間ぐらいの間に、日常生活の中で、あなた自身が差別や人権侵害を受けたと感じたことがありますか(選択は1つ)

前回調査(2016年度)との比較

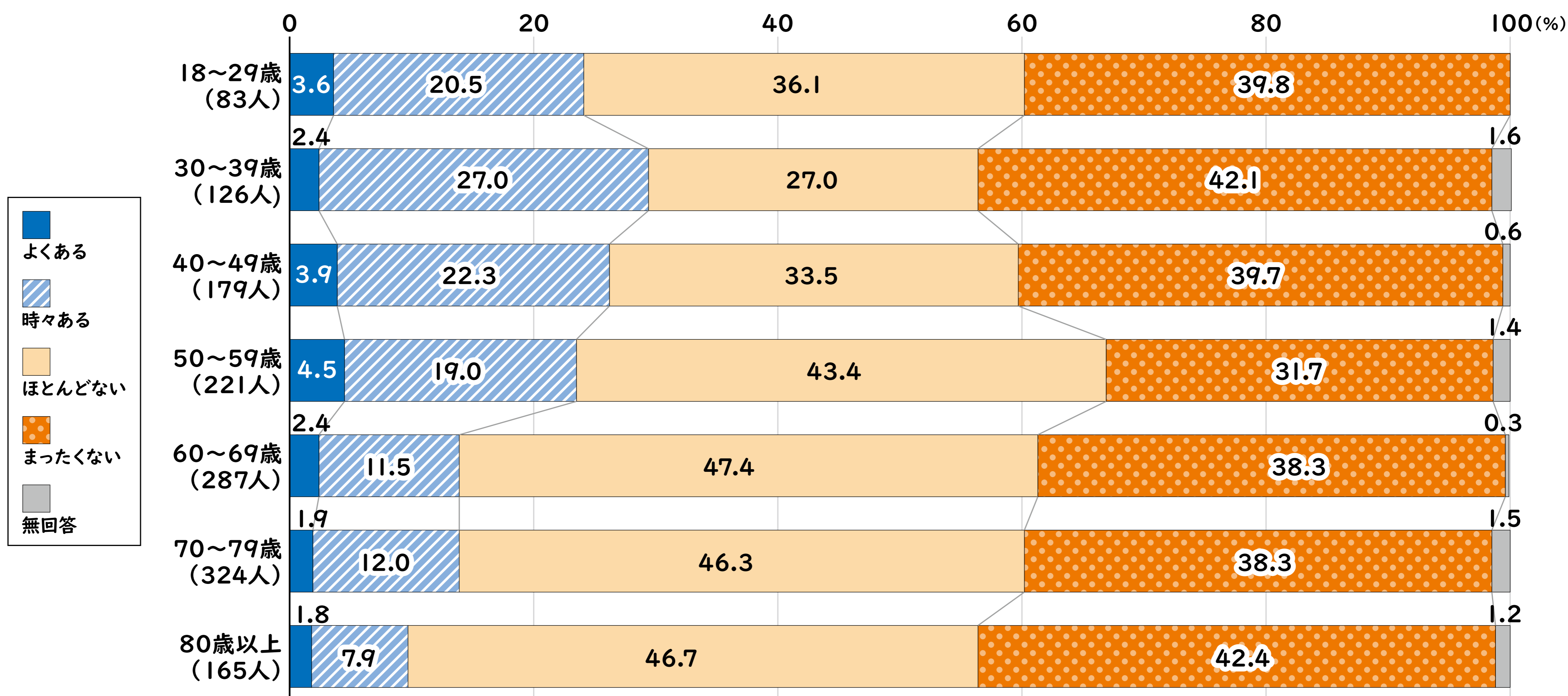


※前回調査では「ある」「ない」という選択肢だったが、今回は「よくある」「時々ある」を合わせて『ある』、「ほとんどない」「まったくない」を合わせて『ない』として比較した



年齢別内訳

※年齢無回答を除いているので総数とは合わない



年代別に見てみると、「差別や人権侵害を受けた」と感じたことがある人の割合は、「50歳代」以下が2割超と高く、「30歳代」でピークとなっています

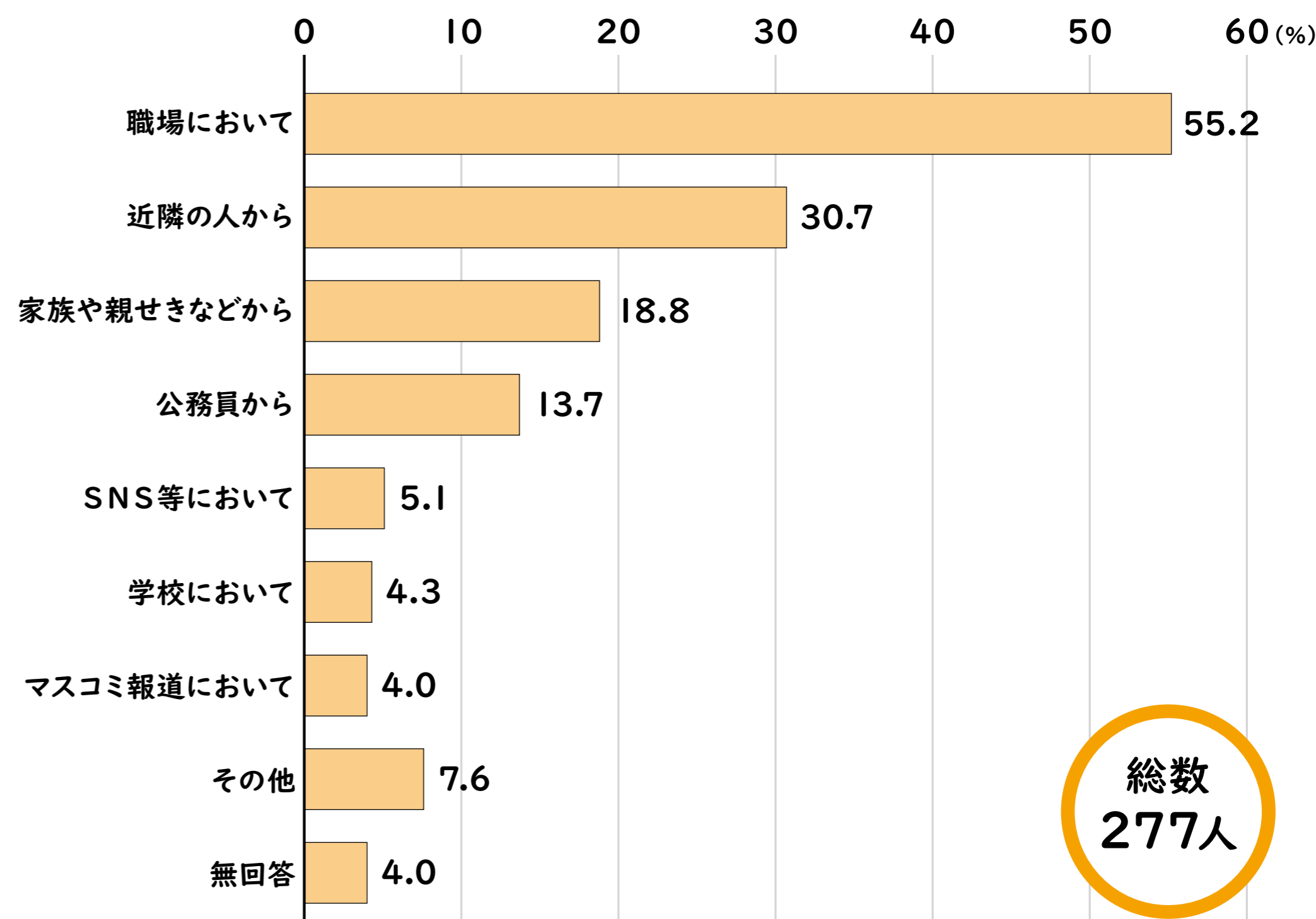
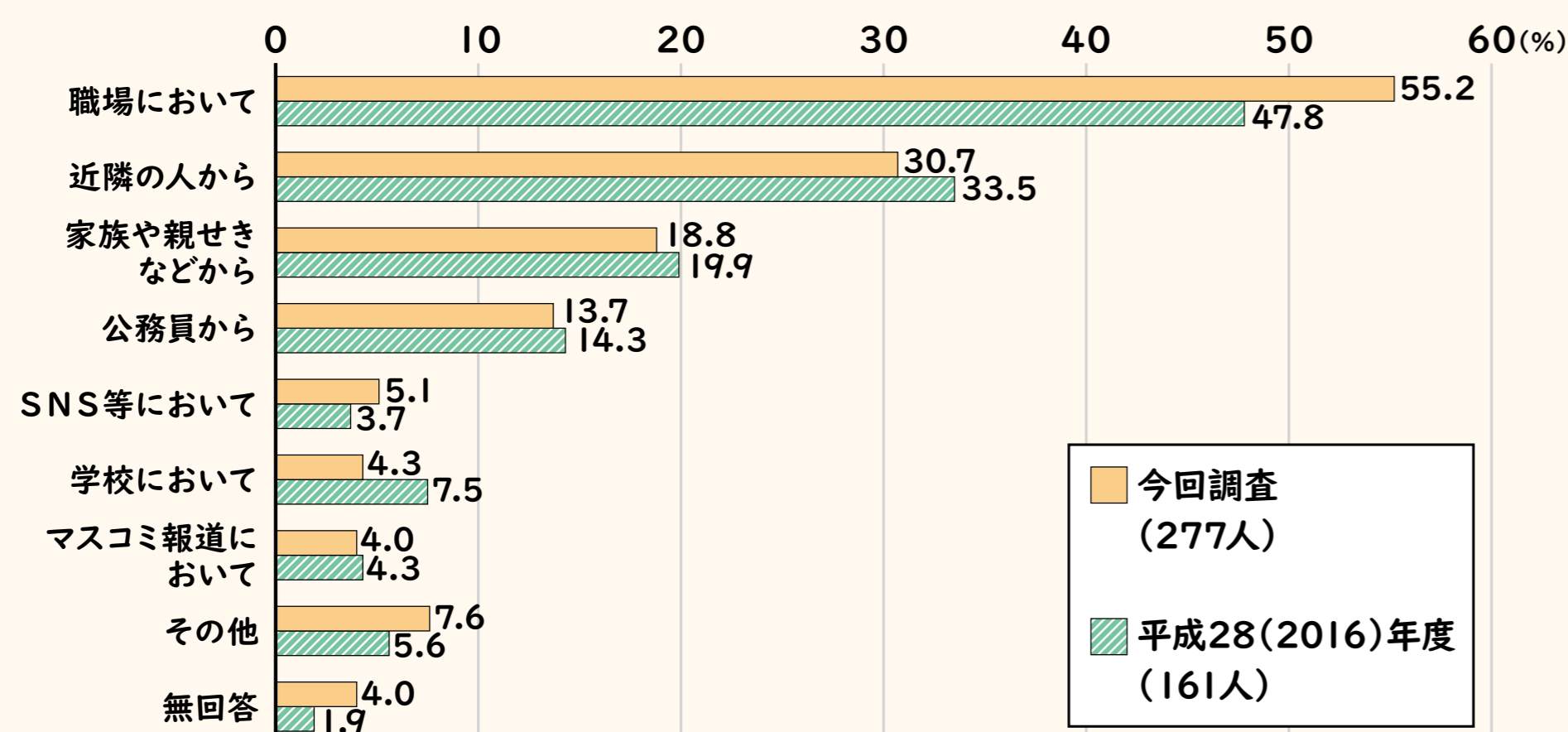
一人一人が大切にされる社会に向けて (令和3(2021)年度島根県人権問題県民意識調査から)

差別や人権侵害を受けた場面は「職場」「地域」「家族・親戚」などが多い

問2

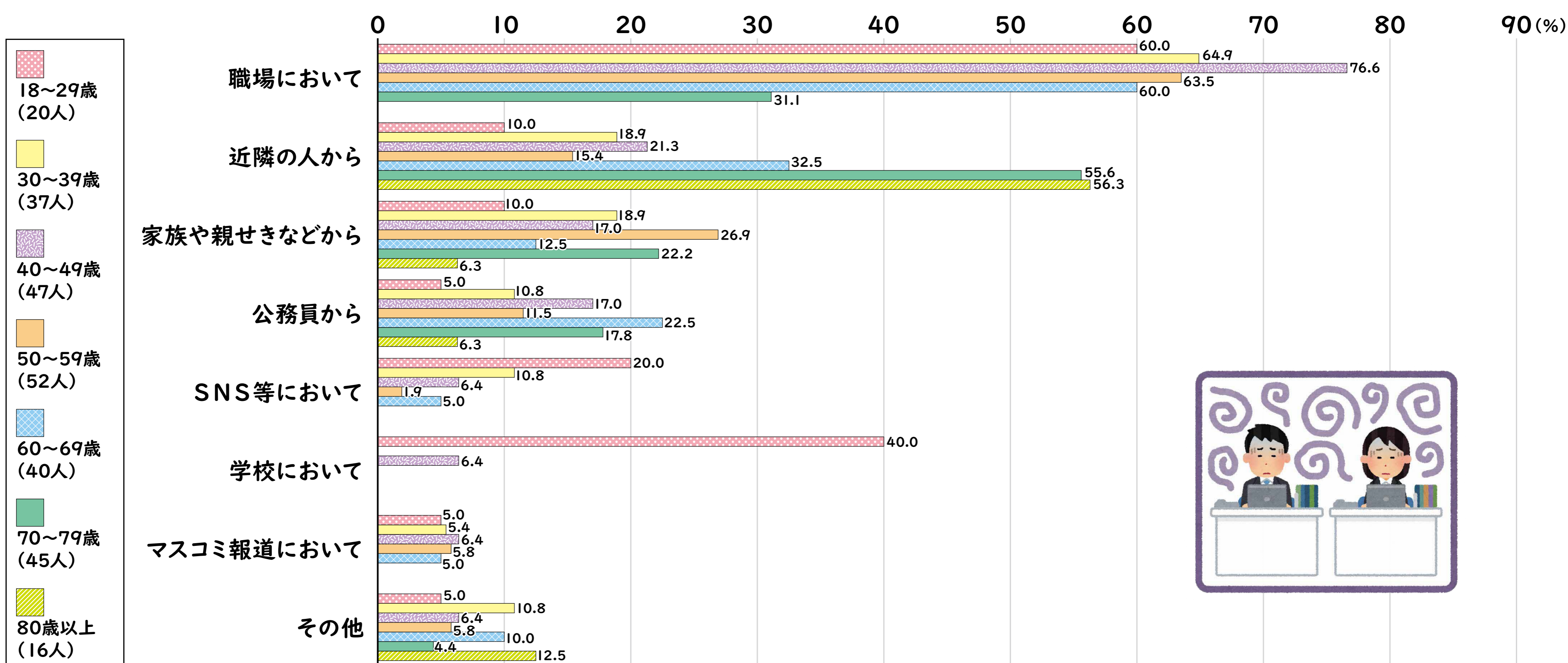
問1で「よくある」「時々ある」と回答した人に
たずねました
**差別や人権侵害は誰から
(どこで)受けましたか (複数選択)**

前回調査(2016年度)との比較



年齢別内訳

※年齢無回答などを除いているので総数とは合わない
※該当がない場合(0%)は掲載していない



差別や人権侵害は、「60歳代」以下が「職場」、「70歳代」以上は「地域」など、身近なところで起きています
誰もが気づかないうちに差別をしてしまう可能性があります
今一度、自身の言動を振り返ってみましょう

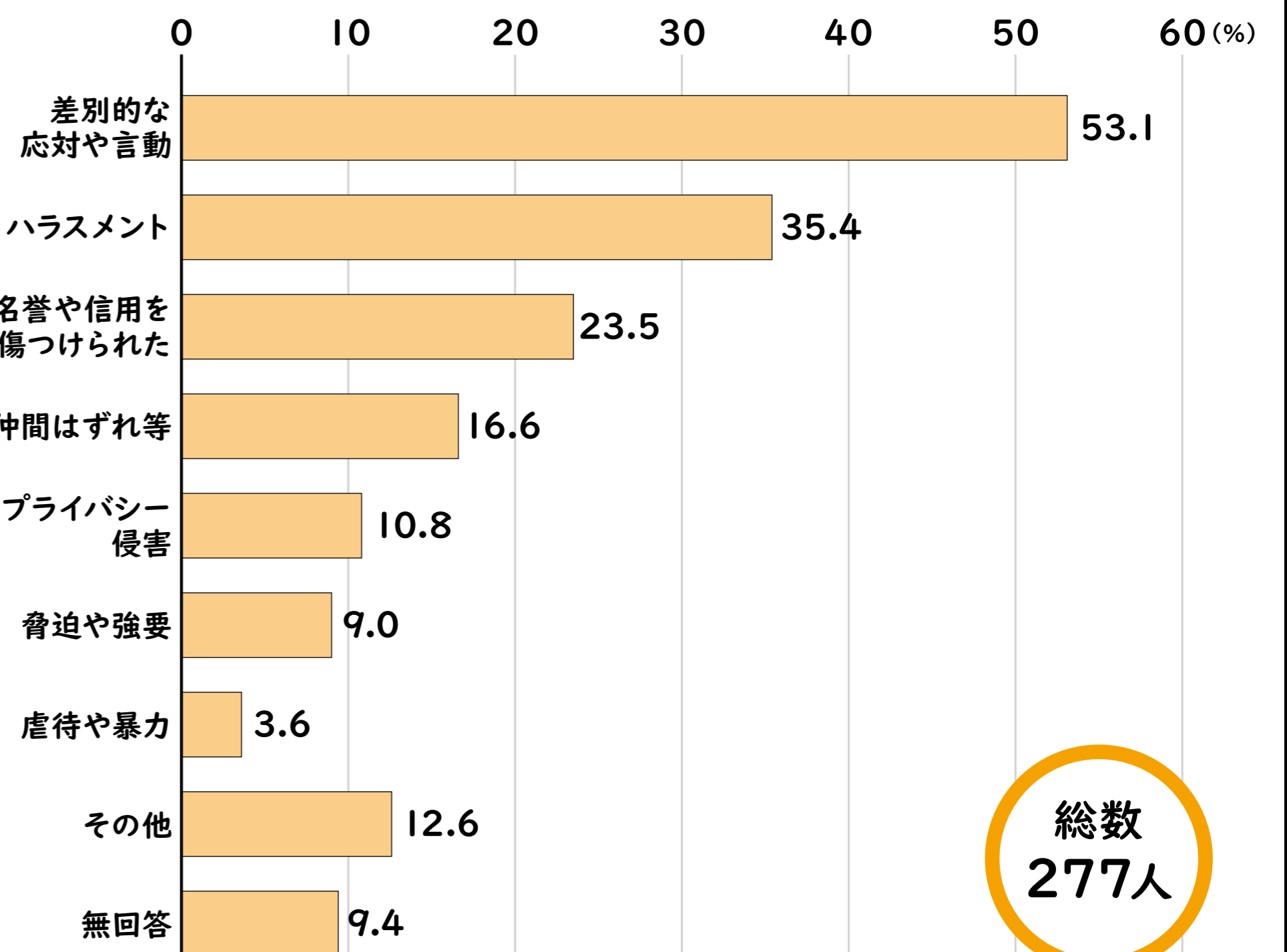
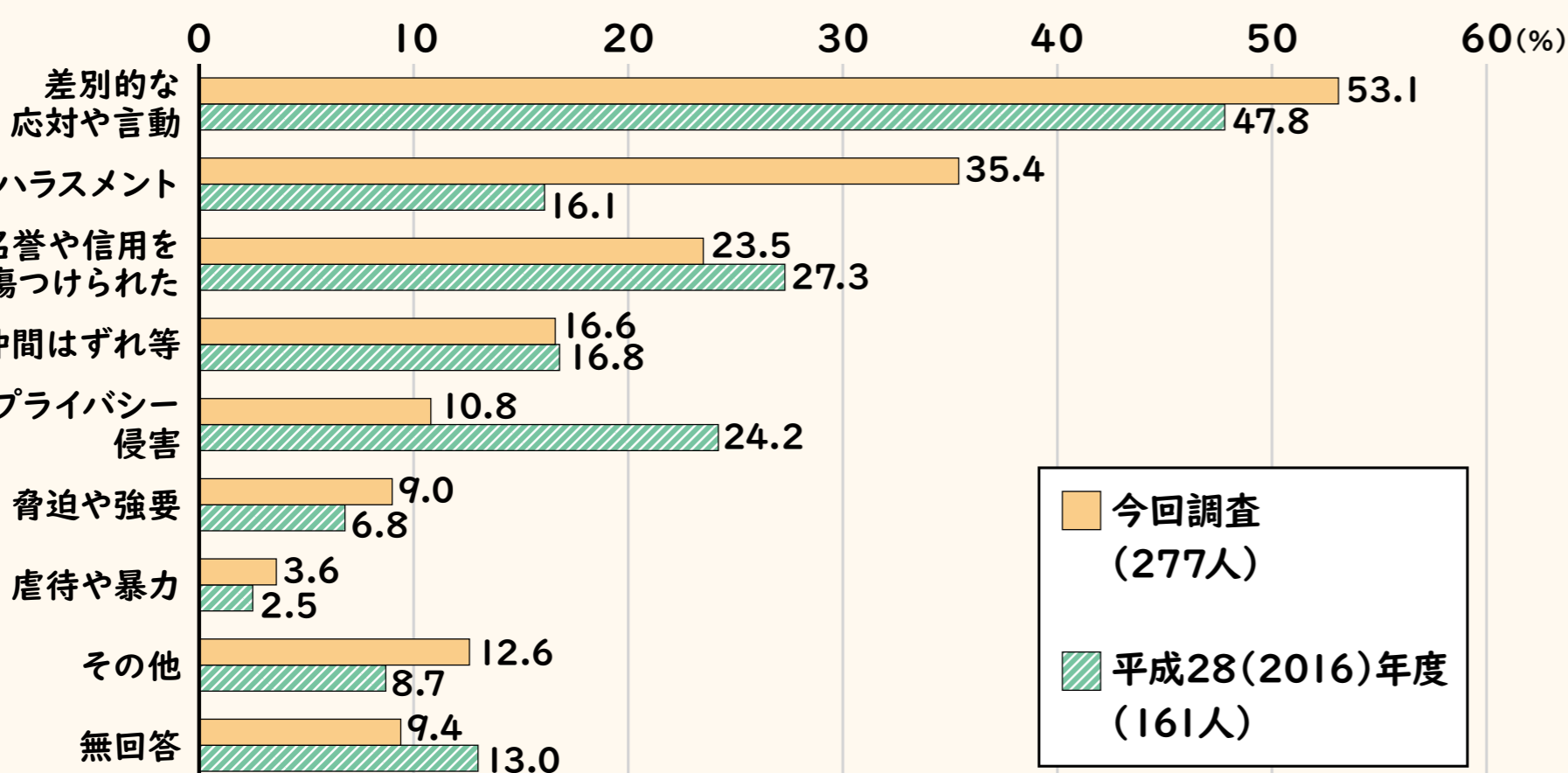
一人一人が大切にされる社会に向けて (令和3(2021)年度島根県人権問題県民意識調査から)

差別や人権侵害の内容は「差別的な対応や言動」「ハラスメント」「名誉や信用を傷つけられた」が多い

問3

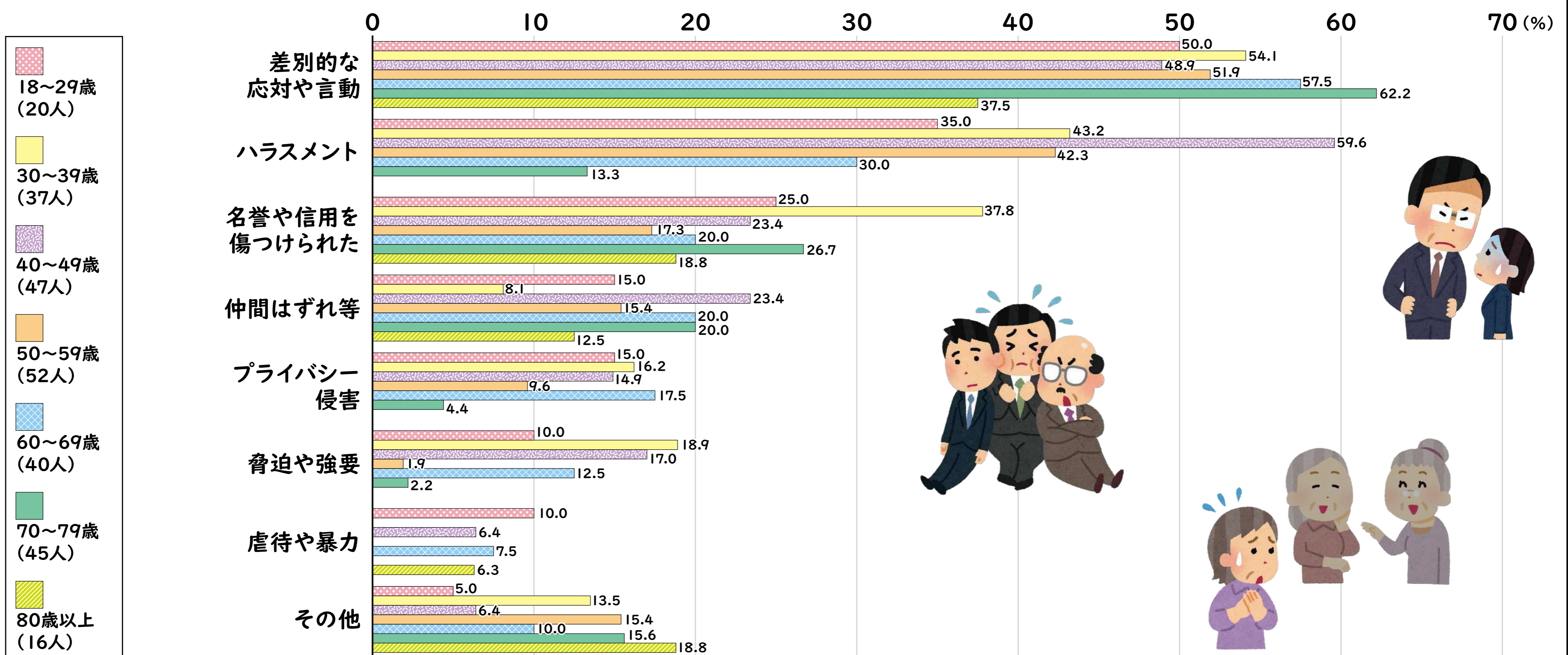
問1で「よくある」「時々ある」と回答した人に
たずねました
どのような差別や人権侵害を
受けましたか（複数選択）

前回調査(2016年度)との比較



年齢別内訳

※年齢無回答などを除いているので総数とは合わない
※該当がない場合(0%)は掲載していない



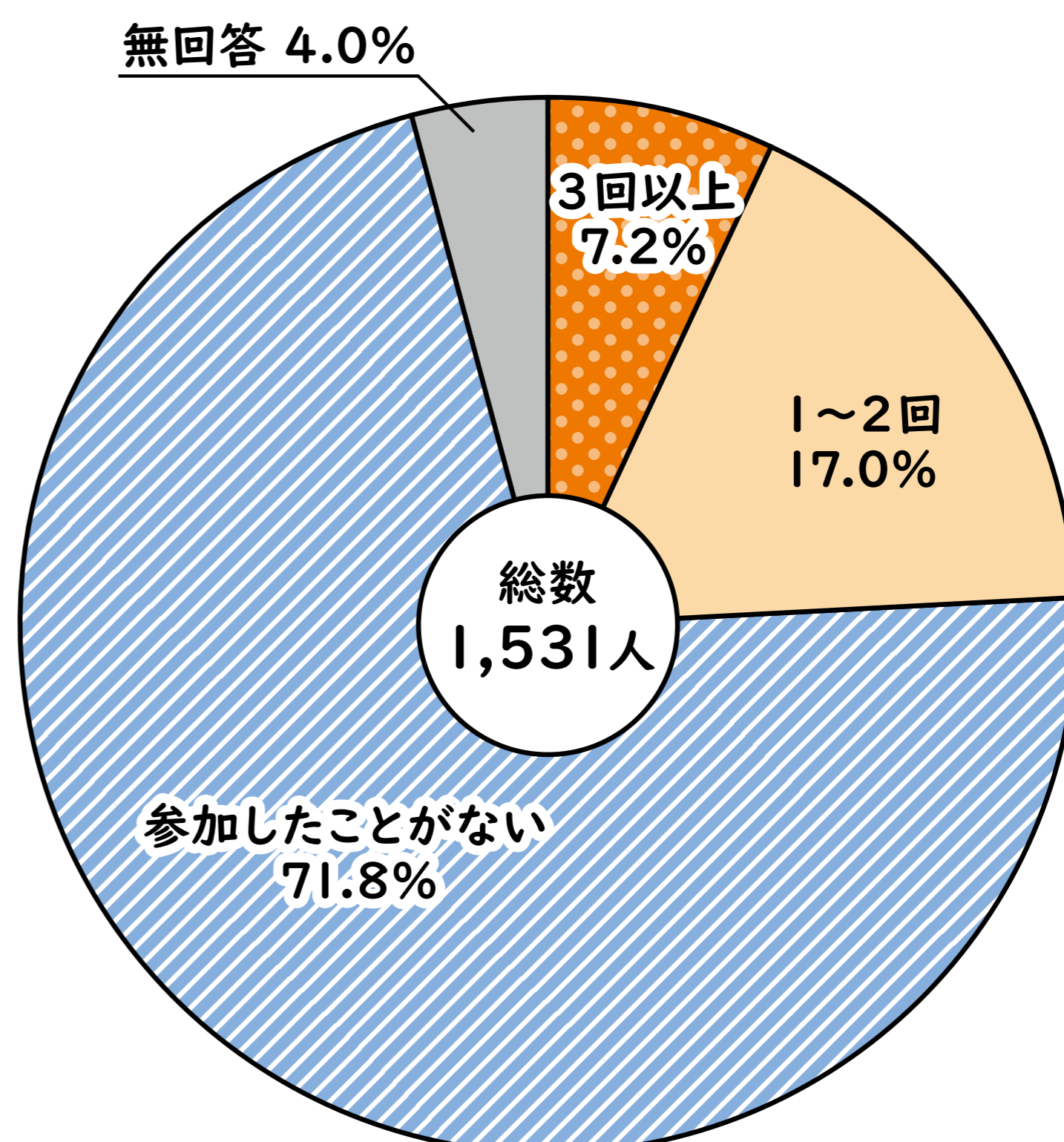
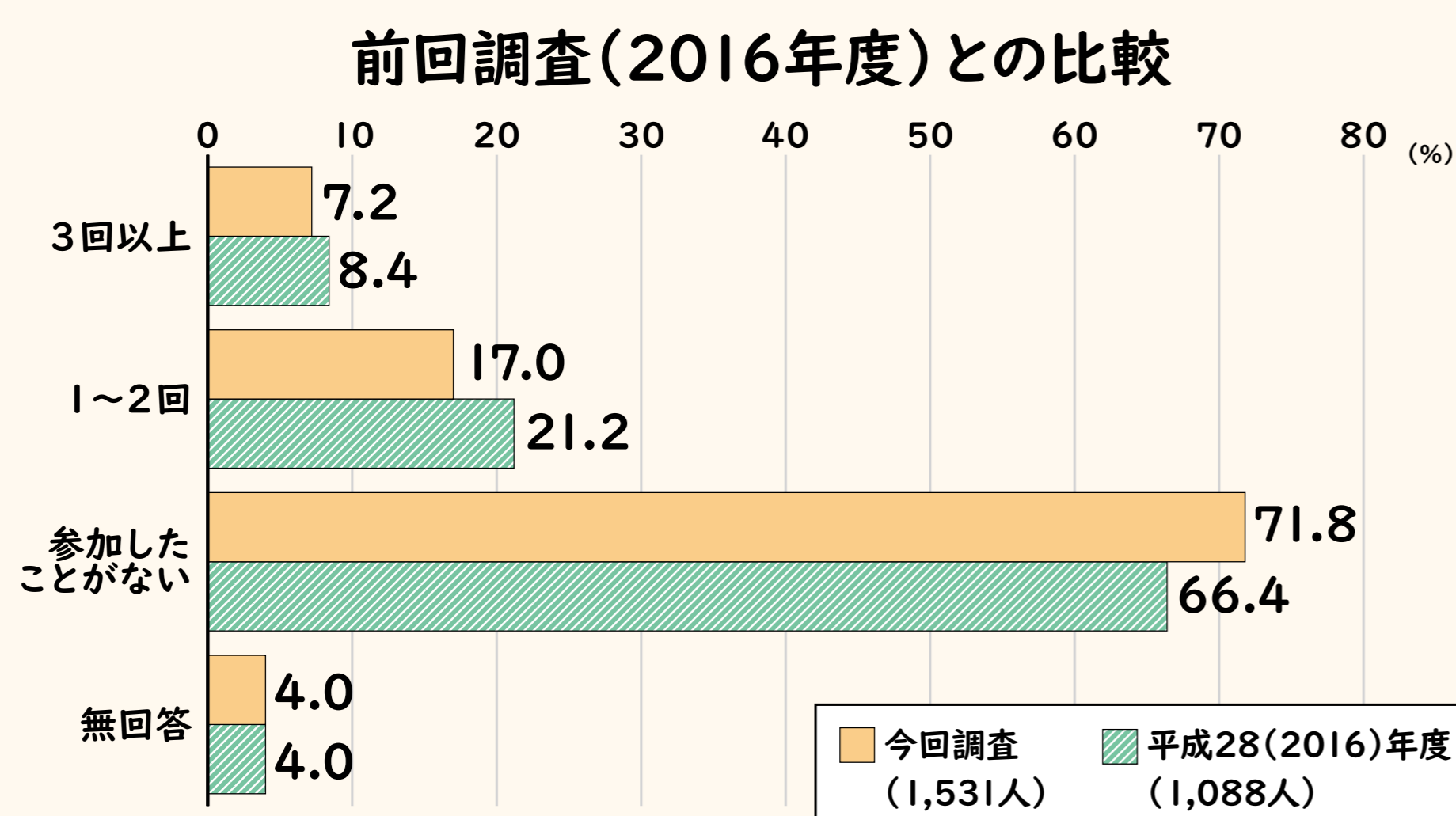
年代別にみると、「差別的な対応や言動を受けた」が「70歳代」、
「ハラスメント」が「40歳代」、「名誉や信用を傷つけられた」が「30歳代」
において、それぞれ回答が多くなっています

一人一人が大切にされる社会に向けて (令和3(2021)年度島根県人権問題県民意識調査から)

過去3年間、人権研修を受けていない人が「7割超」

問4

あなたは過去3年くらいの間に、人権問題に関する講演会や研修会に何回くらい参加しましたか(選択は1つ)



標本数3,000
有効回収数(率) 1,531(51.0%)

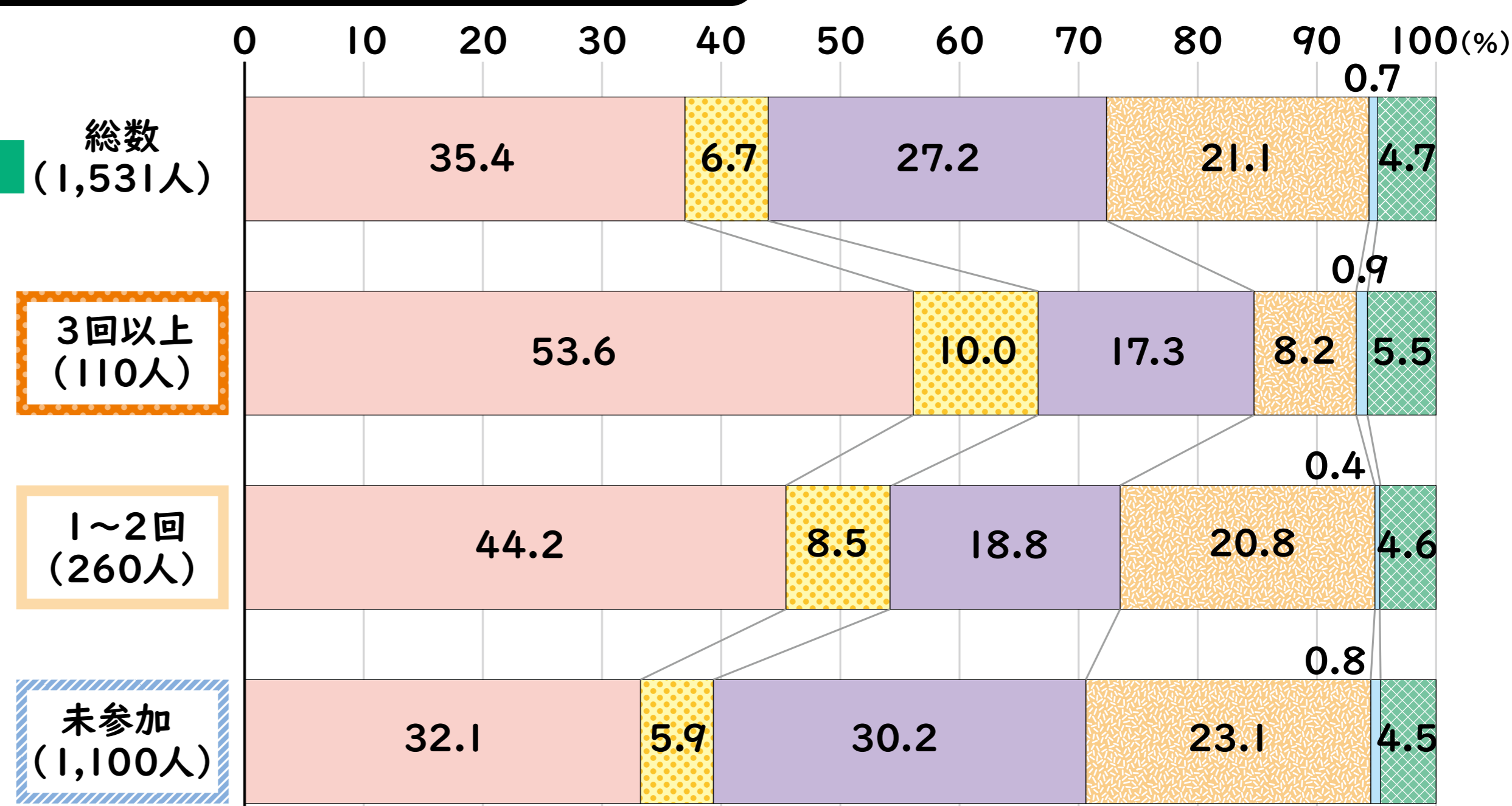
問5

あなたの身近な人が、差別的な言動をしたとしたら、あなたは どうしますか(選択は1つ)



研修等参加回数別の内訳

- 差別的な言動であることをその場で指摘して、その人と話し合う
- 後日、人権問題についてよく知っている人を交えて、その人と話し合う
- どう話してよいかかわからず、気まづくなってはいけなくて、そのまましておく
- 指摘せずに、ほかの話題に変えるようにもっていく
- 相手に合わせて自分も差別的な言動をしてしまう
- その他



※研修等参加回数の無回答を除いているので総数とは合わない

研修等の参加回数が増えるほど、「差別的言動であることを指摘して、その人と話し合う」と回答した人の割合が高いという結果になりました。「研修等を繰り返し受けること」が「人権意識の向上」につながります